

2022年の木材輸入実績

令和5年3月
林野庁 木材貿易対策室

1. 2022年における世界の木材需給動向

- 2021年のいわゆるウッドショックの要因の一つとなった、**世界的なコンテナ不足や海上輸送の混乱は解消**。高騰していた海上輸送運賃も年末にかけて下落傾向⁽¹⁾。
- **ロシアのウクライナ侵攻**により、供給不安が生じたことで**木材需給がひっ迫し、産地価格が高騰⁽²⁾**。その後、**米国**で、インフレ抑制のために**住宅ローン金利を引き上げた結果、住宅着工戸数が減少し**木材需要が縮小。北米製材価格が急落したことで、工場の一時的閉鎖や減産を実施⁽³⁾⁽⁴⁾。**欧州、中国**でも、経済の先行き不透明感が強まり、**木材需要が減退⁽⁵⁾**。

【海上輸送運賃の動向】

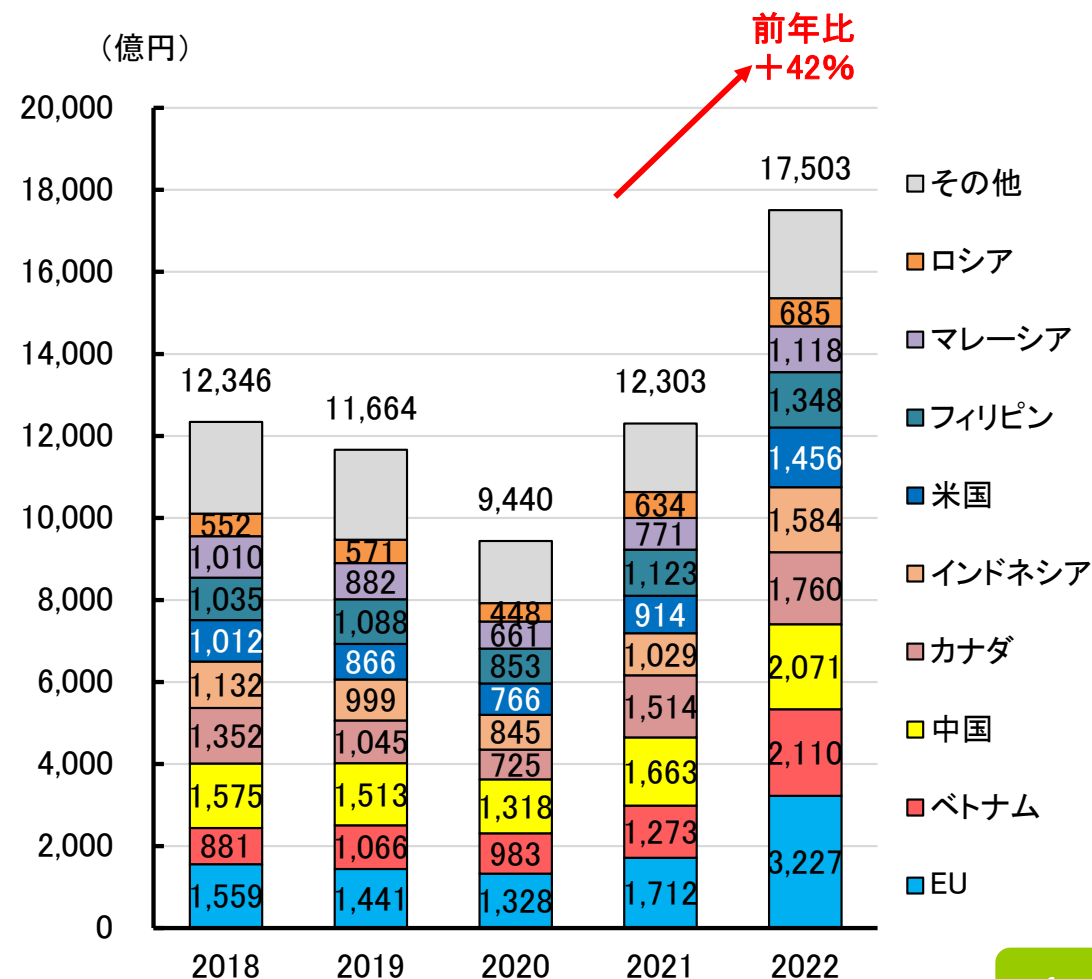
- 世界的なコンテナ不足により、日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに、2020年11月ごろから海上輸送運賃が急上昇し、高値を維持していたが、**2022年7月以降は下落傾向が続く⁽⁶⁾**。

【地域別の主な動向】

- 北米⁽⁷⁾⁽⁸⁾⁽⁹⁾⁽¹⁰⁾**：**住宅ローン金利の上昇やインフレによる物価高も影響し**、米国市場が停滞したことで、2022年5月以降、**住宅着工戸数は減少傾向**が続き、2022年12月は138万戸(速報値)。
北米の製材価格は、コロナ禍以降乱高下が続き、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録。その後、**木材需要の低下に伴い急落**。2022年12月には389ドル/mbfを記録し、**ウッドショック前に近い水準まで下落**。
- 欧州⁽¹⁾**：**年初は、前年に引き続き木材需要は堅調**だったが、ロシアのウクライナ侵攻に伴い、ロシアからEU圏内への木材輸入を停止する制裁措置が4月に発表されると、供給不安から輸入停止となる7月までにロシアから大量に木材を輸入。一方で、**年後半の欧州内では、インフレや資材高の影響から、年初の想定よりも木材需要は低迷**。
- 東南アジア⁽³⁾⁽¹¹⁾**：輸入合板の産地であるマレーシアやインドネシアでは、コロナ禍による人手不足が続き、需要の減少にも関わらず、**産地価格は高止まり**。
- 中国⁽¹²⁾⁽¹³⁾**：2022年の丸太輸入量は、前年比▲31%減。ニュージーランドが同▲13%減、ドイツは虫害材の供給余力がなくなり同▲51%減。**輸入量減少の主な要因**として、産地事情以外に、中国当局による新型コロナウイルス感染防止のための**ロックダウン(都市封鎖)に伴う総需要量の後退**が影響。
- ロシア⁽¹⁴⁾**：2月のウクライナへの侵攻により、欧米による経済制裁の発動、森林認証の停止、非友好国へのチップ・丸太・単板の輸出禁止措置など、**ロシアを取り巻く情勢が激変**。

2. 木材輸入額

- 2022年の**木材輸入額(HS44類)**は、**前年比+42%増**の1兆7,503億円。木材輸入額は、2021年に引き続き2年連続で前年比増となった。
- EUが前年比+88%増、ベトナムが同+66%増、中国が同+25%増、カナダが同+16%増、インドネシアが同+54%増など、**産地価格の高騰や円安などの影響により、主要国は軒並み増加**。
- **EUは、3年連続で木材輸入額第一位**。ベトナムは、前年木材輸入額第四位から第二位に。

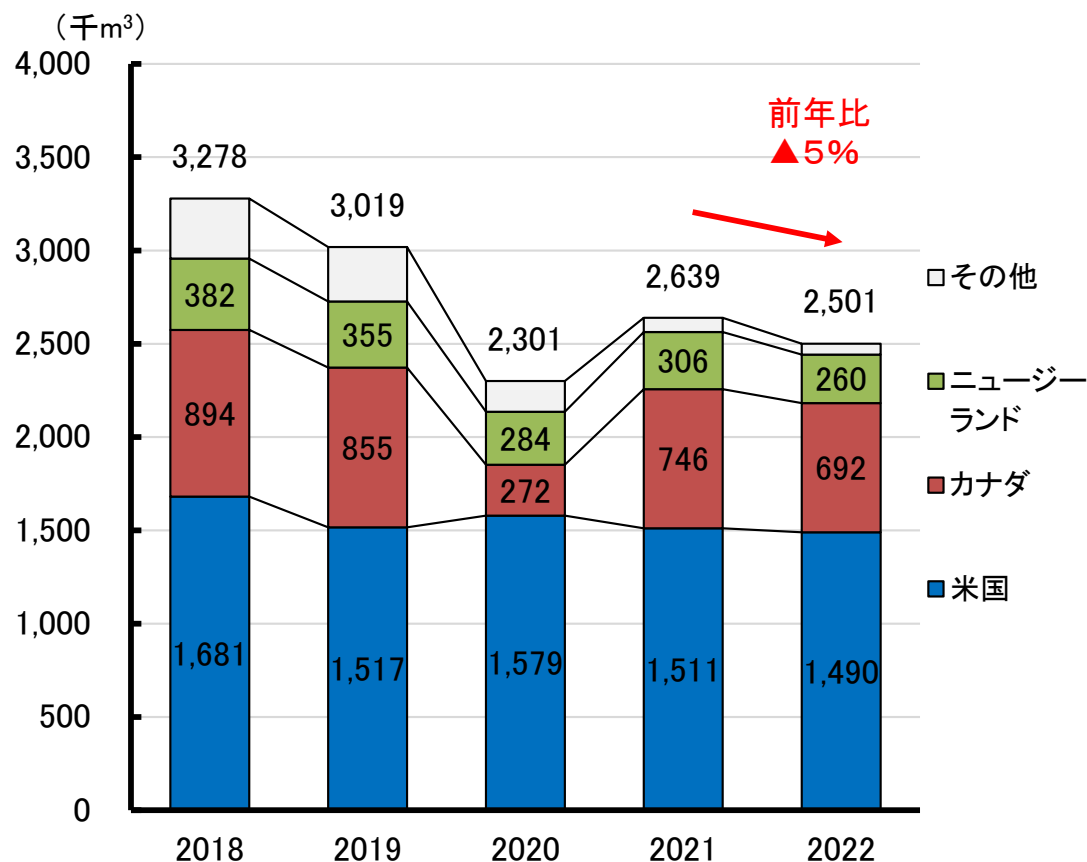


資料:「貿易統計」
(2022年は確々報値)

木材輸入額の推移

3. 品目別輸入動向－(1)丸太

- 2022年の丸太輸入量は、前年比▲5%減の250万m³。
- 米国(シェア:60%)は、同▲1%減の149万m³。年初の産地価格高騰、その後の円安で輸入コストが大幅高となったが、輸出入事業者の値下げ等により一定のシェアを維持⁽⁹⁾。
- カナダ(同28%)は、同▲7%減の69万m³。カナダ産丸太は主に合板用で、日本国内の合板の供給不足により2022年前半は引き合いが強まったが、合板価格が下落した後半は需要が急減し、輸入量が減少⁽¹⁵⁾。
- NZ(同10%)は、同▲15%減の26万m³。円安等により輸入コストが上昇し、製品価格が高騰したことから、国産スギ材へのシフトが生じたため、需要が減退⁽¹⁶⁾⁽¹⁷⁾。

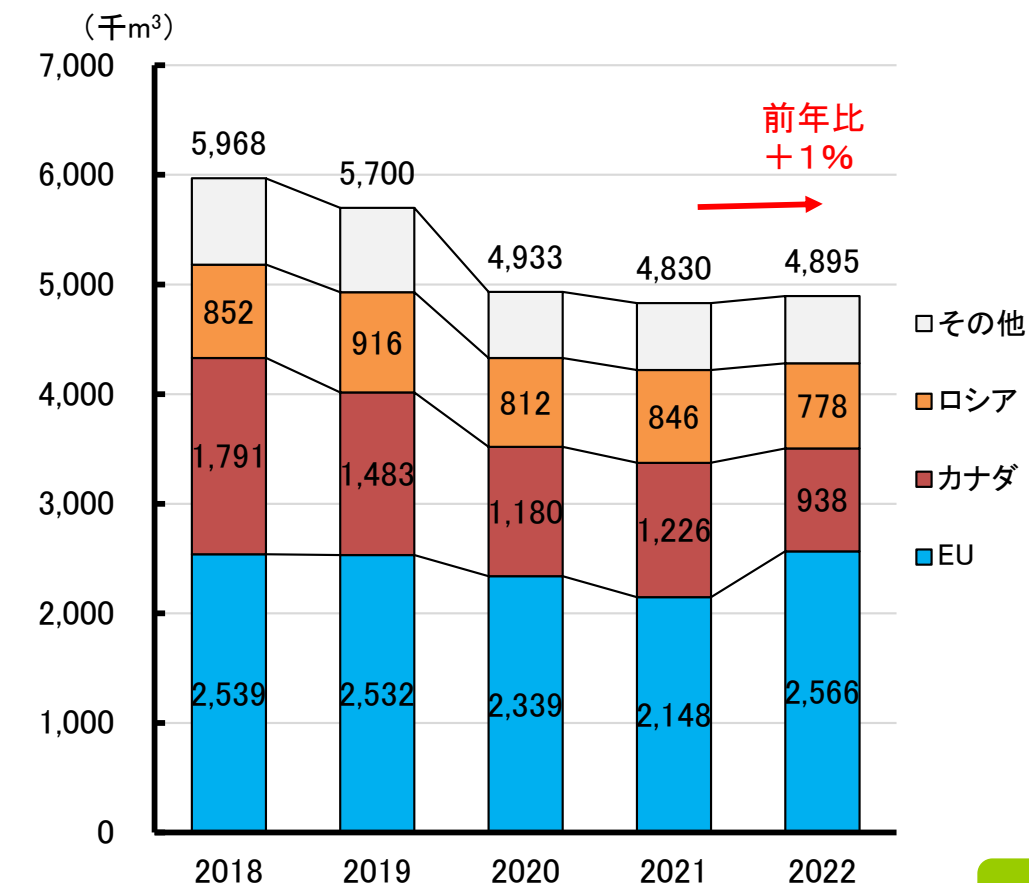


丸太輸入量の推移

資料:「貿易統計」
(2022年は確々報値)

(2)製材

- 2022年の製材輸入量は、前年比+1%増の490万m³。
- EU(シェア:52%)は、同+19%の257万m³。2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻により、木材不足の再来が懸念されたことから、輸入量が増加。一方で、同年7月以降需要が減退し、年末にかけて輸入量は減少⁽¹⁸⁾⁽¹⁹⁾。
- カナダ(同19%)は、同▲23%減の94万m³。カナダ西部内陸産SPF製材は、底値より4倍近く産地価格が値上がりしたことで、欧州材等の競合材の流入を招き、輸入量が大幅に減少⁽¹⁰⁾⁽¹⁵⁾。
- ロシア(同16%)は、同▲8%減の78万m³。ロシアのウクライナ侵攻により、取引の敬遠、国内の需給減等により輸入量が減少⁽²⁰⁾⁽²¹⁾。

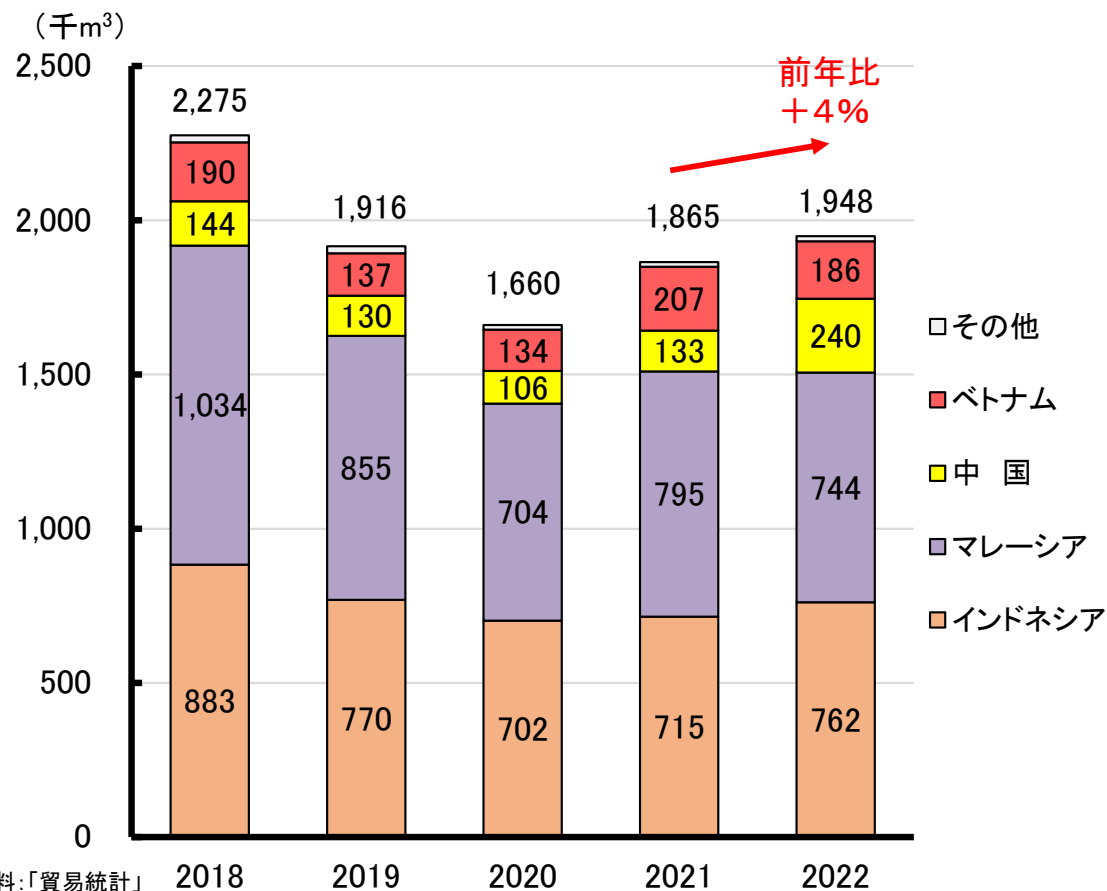


製材輸入量の推移

資料:「貿易統計」
(2022年は確々報値)

(3) 合板

- 2022年の合板輸入量は、前年比+4%増の195万m³。中国がベトナムを抜き、合板輸入量第三位に。
- インドネシア(シェア:39%)は、前年比+7%増の76.2万m³。マレーシア(同38%)は、前年比▲6%減の74.4万m³。2021年契約分が年始に遅れて輸入された。その結果、在庫過多となり、第2・四半期以降輸入量が減少⁽²²⁾⁽²³⁾。
- 中国(同12%)は、前年比+81%増の24.0万m³。国産針葉樹合板の供給不足の影響により、春から夏にかけて輸入量が急増。その後、国内需要の減少等により輸入量は減少⁽²⁴⁾。

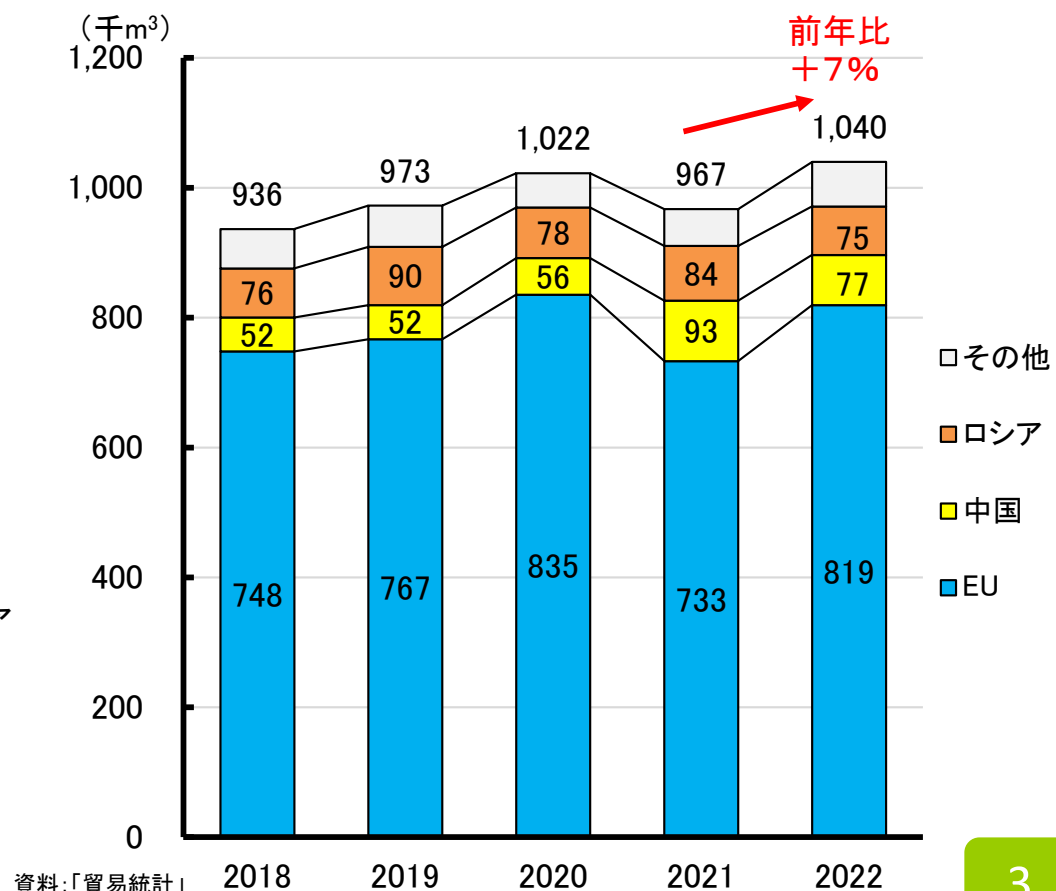


資料:「貿易統計」
(2022年は確々報値)

合板輸入量の推移

(4) 集成材

- 2022年の集成材輸入量は、前年比+7%増の104万m³(うち構造用集成材:90.6万m³)。
- EU(シェア:79%)は、前年比+12%増の81.9万m³。ロシアのウクライナ侵攻により、木材不足の再来が懸念されたことから、輸入量が増加。一方で、同年7月以降在庫過多により、年末にかけて輸入量は減少⁽¹⁸⁾⁽²⁵⁾。
- EU加盟国別では、フィンランドが前年比+12%増の39.0万m³、ルーマニアが同5%増の15.6万m³、オーストリアが同▲1%減の12.5万m³。
- 一方、ロシア(シェア7%)は、前年比▲11%減の7.5万m³。中国(同7%)も、同▲17%減の7.7万m³。

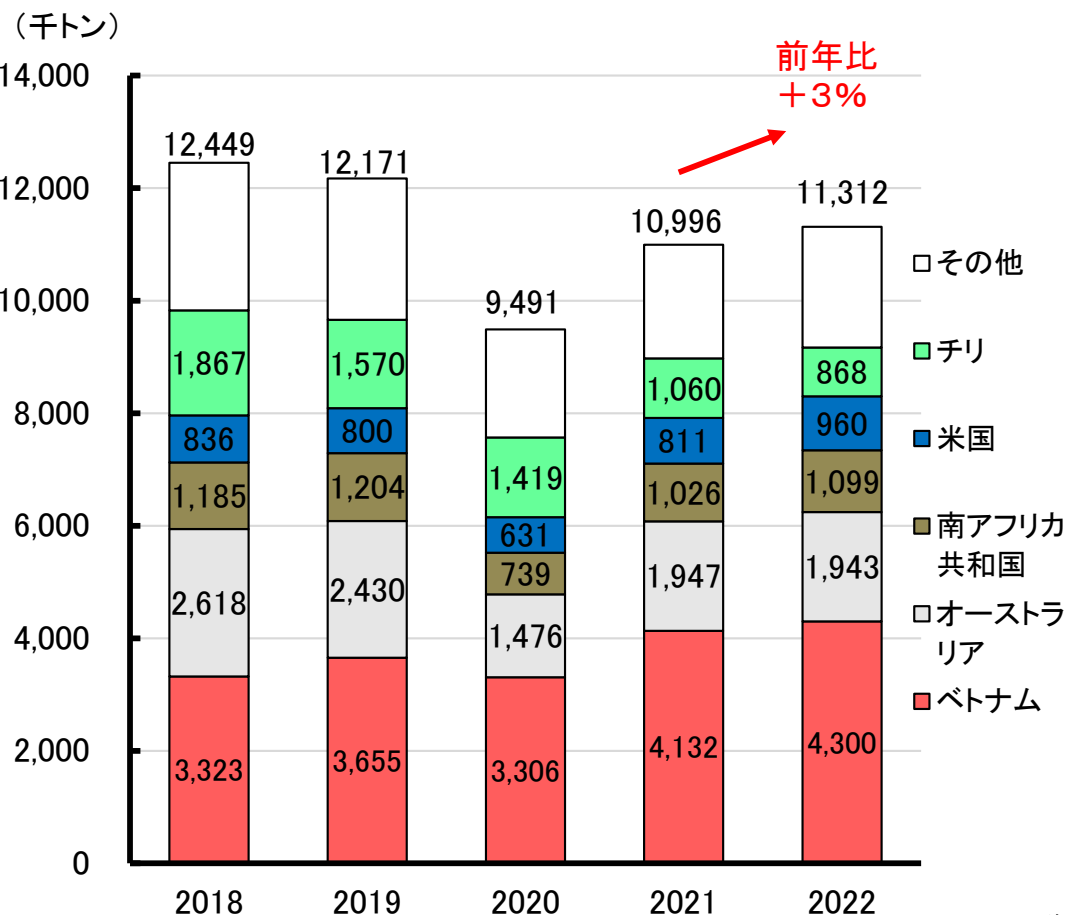


資料:「貿易統計」
(2022年は確々報値)

集成材輸入量の推移

(5) 木材チップ

- 2022年の木材チップ輸入量は、前年比+3%増の1,131万トン。
- 新型コロナウイルスに関連した行動制限の緩和に伴う経済活動の回復等により、パッケージ用紙の需要量が増加。一方、デジタル化の影響により、2021年に引き続き、グラフィック用紙の需要量が減少⁽²⁵⁾。
- ベトナム(シェア:38%)は、前年比+4%増の430万トン。オーストラリア(同17%)は、同▲0%減の194万トン。他方、チリ(同8%)は、同▲18%減の87万トンとなり、年々輸入量が減少。

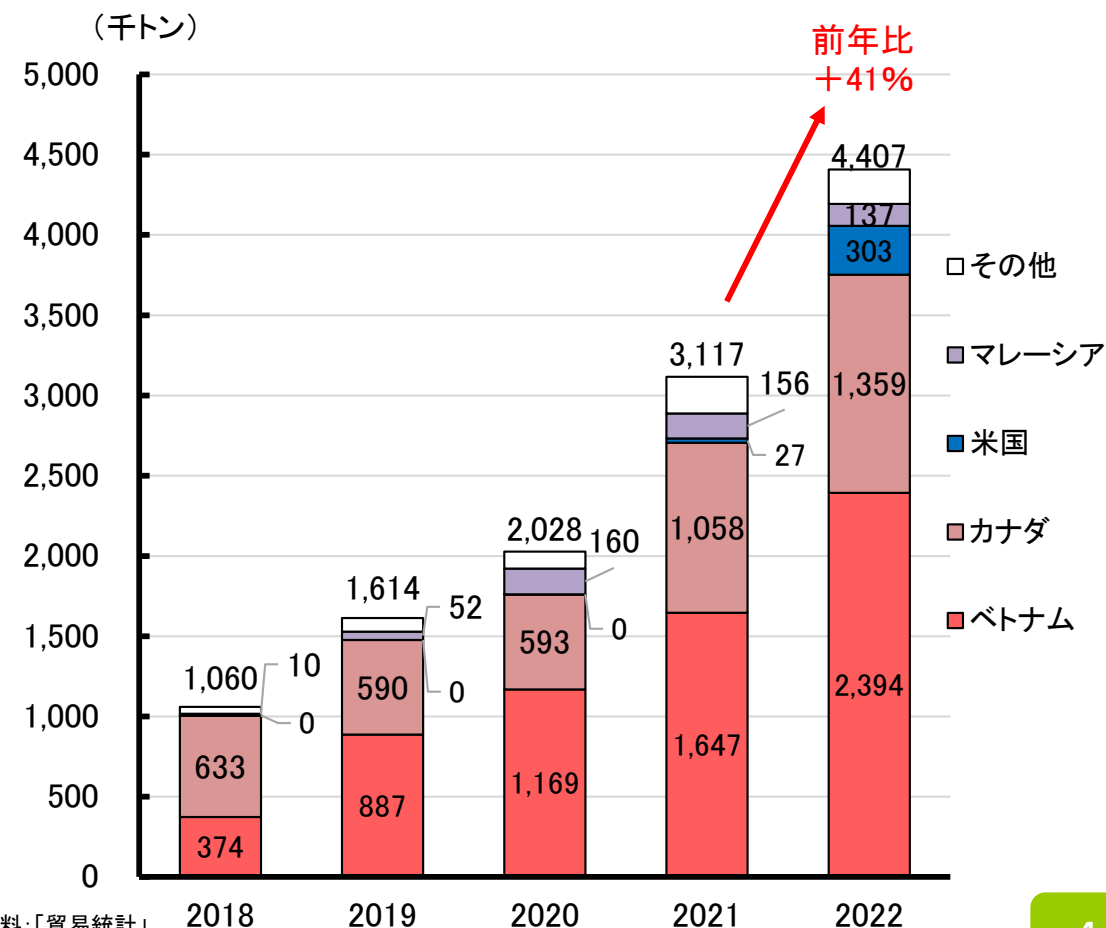


資料:「貿易統計」
(2022年は確々報値)

木材チップ輸入量の推移

(6) 木質ペレット

- 2022年の木質ペレット輸入量は、前年比+41%増の441万トン。国内ではバイオマス発電所が相次ぎ稼働し、需要が急増。一方、ロシアのウクライナ侵攻により、欧州向けの天然ガス供給が減少。この結果、欧州をはじめ世界市場で木質系燃料の取り合いが生じ、日本向け供給はひっ迫⁽²⁷⁾⁽²⁸⁾⁽²⁹⁾。
- ベトナム(シェア:54%)は同+45%増の239万トン。カナダ(同31%)は同+28%増の136万トン、米国は(同7%)は同+102%増の30万トン。国内需要の高まりから、輸入量が年々増加。



資料:「貿易統計」
(2022年は確々報値)

木質ペレット輸入量の推移

出典

1 ページ目

【2022年における世界の木材需給動向】

- (1)令和5(2023)年1月13日付け日刊木材新聞 5面「欧州材 シェア奪還に向けて正念場」
- (2)令和5(2023)年1月1日付け日刊木材新聞 2面「ウッドショック後を考える ロシア・ウクライナ情勢が混乱に拍車」
- (3)令和4(2022)年12月19日発行 木材建材ウイクリー p.4
- (4)令和5(2022)年1月23日発行 木材建材ウイクリー p.9
- (5)令和4(2022)年12月12日発行 木材建材ウイクリー p.3

【海上輸送運賃】

- (6)公益財団法人日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

【地域別の主な動向】

・北米

- (7)(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)
- (8)(製材価格)Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」
- (9)令和5(2023)年1月9日付け日刊木材新聞 4面「米加材 米松国内挽きは丸太コスト高が課題に」
- (10)令和5(2023)年1月13日付け日刊木材新聞 5面「米加材 需要停滞と在庫過剰感で荷動き鈍化」

・欧州

- (1)令和5(2023)年1月13日付け日刊木材新聞 5面「欧州材 シェア奪還に向けて正念場」

・東南アジア

- (3)令和4(2022)年12月19日発行 木材建材ウイクリー p.4
- (11)令和5(2023)年1月16日付け日刊木材新聞 3面「合板 内外産とも需給調整局面続く」

・中国

- (12)令和4(2022)年12月20日付け日刊木材新聞 1面「中国丸太輸入 今期丸太輸入量2000万m³減少見込み」
- (13)ITTO Tropical Timber Market Report Volume 27 Number 3 1st – 15th February 2022

・ロシア

- (14)令和5(2023)年1月13日日刊木材新聞付け 7面「ロシア材 中国停滞、欧州禁輸で日本向け供給意欲強まる」

2ページ目

【丸太】

・米国

(9)令和4(2022)年1月9日付け日刊木材新聞 4面「米松国内挽きは丸太コスト高が課題に」

・カナダ

(15)令和4(2022)年12月12日発行 木材建材ウイクリー p.9

・NZ

(16)令和4(2022)年12月12日発行 木材建材ウイクリー p.12

(17)令和5(2023)年1月9日付け日刊木材新聞 8面「為替変動大きく、先行き不透明 NZ・チリ材」

【製材】

・EU

(18)令和4(2022)年12月12日発行 木材建材ウイクリー p.10

(19)令和4(2022)年12月19日発行 木材建材ウイクリー p.10

・カナダ

(10)令和5(2023)年1月13日付け日刊木材新聞 5面「米加材 需要停滞と在庫過剰感で荷動き鈍化」

(15)令和4(2022)年12月12日発行 木材建材ウイクリー p.9

・ロシア

(20)令和4(2022)年12月12日発行 木材建材ウイクリー p.11

(21)令和5(2023)年2月7日付け日刊木材新聞 8面「22年、主要木材・製品輸入量 欧州製材、米加材の減少補完」

3ページ目

【合板】

・マレーシア、インドネシア

(22)令和4(2022)年12月12日発行 木材建材ウイクリー p.13

(23)令和4(2022)年12月19日付け日刊木材新聞 2面「合板不足は年央でピークアウト」

・中国

(24)令和4(2022)年12月19日発行 木材建材ウイクリー p.12

【構造用集成材】

・EU

(18)令和4(2022)年12月12日発行 木材建材ウイクリー p.10

(25)令和4(2022)年12月16日付け日刊木材新聞 1面「構造用集成材 長引く弱基調、10万円台割る 在庫過多、コスト高で年越し」

4ページ目

【木材チップ】

(26)日本製紙連合会 「2022年 紙・板紙内需見通し報告」

【木質ペレット】

(27)令和4(2022)年12月12日発行 木材建材ウイクリー p.19

(28)令和5(2023)年1月9日付け 日刊木材新聞13面「バイオマス 世界市場で輸入材燃料を取り合う 日本の木質バイオマス発電事業が正念場」

(29)令和4(2022)年12月26日付け 日刊木材新聞2面「2022年を顧みる バイオマス 燃料材確保に神経をすり減らす 内外燃料材価格が上昇」